

指定有無 / 市指定史跡

名 称：清水城跡（しみずじょう）
別 称：興聖寺城、吉水の城
所在地：佐野市新吉水町

安貞2年(1228)佐野国綱が岩崎義高のために築城したとされます。古記録によると、大永2年(1522)まで西佐野家が居住し、岩崎左馬助重長が岩崎への所替えによって佐野秀綱が居住するようになったと記されています。それ以後、家臣や佐野家一族が居住し、慶長19年(1614)佐野氏の改易により廃城になったとされます。

本丸跡が興聖寺周辺に残る平城です。東西約116m、南北約133mのほぼ方形に土塁や堀跡が巡ります。本城は約800m四方の城域を有した可能性もあります。



指定有無 / 市指定史跡、市指定名勝

名 称：佐野城跡（さのじょう）
別 称：姥ヶ城、春日岡城、春日城、春日山城
所在地：佐野市若松町

藤原秀郷の曾祖父の下野守藤成が延暦9年(790)に館を築いたのが始まりとされ、天慶3年(940)に秀郷が平将門討伐を祈願して春日岡山惣宗寺を建立したと伝えられます。慶長7年(1602)、佐野信吉が唐沢山城から本城へ拠点城郭を移し、町並みの整備を進めたとされます。その後慶長19年(1614)、改易とともに廃城になります。

標高約55mの独立丘陵上に南側から三の丸・二の丸・本丸・北出丸が直線的に配置された平山城です。



佐野市内主要城館跡分布図



No	城館跡名	No	城館跡名
1	黒仁田城跡	17	大門城跡
2	仙賀城跡	18	横小路城跡
3	中村城跡	19	小中城跡
4	諏訪山城跡	20	堀ノ内城跡
5	藤四館跡	21	羽田城跡
6	小日向城跡	22	高橋城跡
7	長谷場城跡	23	大網山城跡
8	寄居城跡	24	屋形山城跡
9	城之山城跡	25	大貫氏館跡 (富士館跡、佐野宗綱壘城跡)
10	須花城跡	26	小倉城跡
11	大網城跡	27	古河岩城跡
12	鳥居戸城跡	28	堀米城跡
13	田沼城跡	29	黒袴藤岡城跡
14	小見城跡	30	鎧塚阿曾沼城跡
15	鳩ノ峰城跡	31	松本丹波守館跡
16	赤見駒場城跡	32	堀田佐野城跡

【編 集】
佐野市教育委員会文化財課 ☎0283-61-1177
栃木県佐野市田沼町974-3 Mail. bunkazai@city.sano.lg.jp

【発 行】
佐野市観光立市推進課 ☎0283-27-3011
栃木県佐野市高砂町1 Mail. kankousuisin@city.sano.lg.jp

私有地での見学等の際には、マナーを守るようお願いいたします。



みんなで
育み、誇る
とちぎの文化



Guide of the
castle site
in SANO city

佐野市の
城館跡ガイド

平成29年11月25日・26日、栃木県佐野市では全国山城サミットが開催されます。この機会を利用し、国指定史跡唐沢山城跡をはじめ、佐野氏の拠点城郭の変遷を物語る清水城跡、佐野城跡、また、唐沢山城の支城など、市内に伝わる主な城館跡をご紹介します。



唐沢山城跡

佐野城跡

指定有無 / 国指定史跡

名 称：唐沢山城跡（からさわやまじょう）
別 称：栃本城、根小屋城、牛ヶ城、佐野城
所在地：佐野市富士町、栃本町

唐沢山城跡は、天慶年間(940頃)の藤原秀郷築城の伝承を有しますが、史実の確認されておらず詳細不明です。戦国時代前期となる文明3年(1471)には本城の存在が明らかになっています。16世紀後半となる戦国時代後期には小田原の北条氏や越後の上杉氏との戦が繰り返されました。天正18年(1590)の小田原合戦に際し佐野一族の天徳寺が豊臣方の武将として入城し、天正20年(1592)には秀吉の家臣富田知信の子信種(信吉)を佐野家の養子として城主に迎えています。信吉は関ヶ原の合戦後の慶長年間に現在の市街地である天命(天明)の春日岡(佐野城)へ移城し、本城は廃城となります。慶長19年(1614)の佐野氏改易後、寛永10年(1633)唐沢山周辺は彦根藩領となり、江戸時代を通じて御留山(おとめやま)として管理されました。明治16年(1883)に唐澤山神社が創建されています。



本城跡は標高242mの山頂から山麓まで城郭遺構が良好に残され、194haを超える広大な面積を有した関東屈指の山城です。本丸南側に高さ8mを超える高石垣を目にすることが出来ます。本丸周辺の石垣は関東で大変珍しいもので、豊臣方の技術導入によるものと考えられます。一方、三の丸帯曲輪(おびくるわ)等に堀跡や土塁等も残り、中世以来の土づくりの築城技術も残されています。中腹にも中世の特色を有した堀切や土橋等が複数認められます。

山麓の西側と南側に根小屋があります。西麓の根小屋は南北に約1km以上削平地等が続いており、現在でも城主の屋敷や家臣団屋敷の跡と考えられる複数の区画のほか、大規模な堀跡や土塁、切岸等も確認できます。

本城跡は中世から近世初頭にかけて佐野氏の拠点城郭として、本地域の歴史を今に伝える貴重な文化遺産です。

全国山城サミット佐野大会実行委員会

指定有無 / 無
名 称：阿土山城跡（あどやまじょう） 別 称：甲之城？ 所在地：佐野市仙波町

建永元年（1206）安戸四郎吉綱が築城したとされます。その後城主の変遷があり、永禄2年（1559）以後佐野氏が使用し、慶長3年（1598）には天徳寺が阿土山に居住したと伝えられています。慶長6年（1601）に天徳寺が没し、その後廃城となったとされています。

標高371mの山頂から続く尾根等に複数の大きな堀切や、石積が残された山城です。



指定有無 / 無
名 称：正雲寺城跡（しょううんじじょう） 別 称：佐野源左衛門常世館、豊代城 所在地：佐野市豊代町

築城、廃城時期等は不明です。黒仁田行政が仙賀城を本丸、本城を下屋敷とし、11世紀半ばより佐野領になったとされています。謡曲「鉢の木」で有名な佐野源左衛門常世が住んでいたとも伝えられています。

東西約120m、南北約160mに亘って、高さ1～2m程の土塁がほぼ方形を呈するように残された平城です。現存する方形の館跡では、本地域に残されている最大規模になります。



指定有無 / 市指定史跡
名 称：蓬山城跡（よもぎやまじょう） 別 称：忍(しのび)城 所在地：佐野市作原町

築城時期は不明ですが、藤原秀郷が築城し、秀郷の弟永郷、興郷、友郷らが居城したと伝えられています。忍城といい、佐野氏の有事の備えといわれています。

標高391mの山頂にある30m×6m程の主郭を中心に削平地や堀切等が配置された山城です。

主郭西側の2つの堀切に土橋状の通路が認められます。大戸川と小戸川の合流地点に立地します。



指定有無 / 無
名 称：白岩山城跡（しらいわさんじょう） 別 称：蓬山三の出城 所在地：佐野市白岩町

築城、廃城の時期はともに不明です。蓬山の出城といわれています。

標高412mの山頂から山腹にかけて数多くの削平地が認められる山城です。山頂の手前、西側に堀切があります。山腹の2箇所で石積が確認できます。本城跡は大規模な普請がなされたものでないことから砦等の役割を担ったのではないかと考えられます。



指定有無 / 無
名 称：要谷山城跡（ようがいさんじょう） 別 称：小野城、根古屋城 所在地：佐野市飛駒町

築城は、天正年間（1573～1592）の初めに小野高吉が築いたとされます。その後、天正12年高吉が小曾根筑前に謀殺され、小曾根氏が一時城主となり、佐野家の改易とともに廃城になったとされます。

標高約392mの山頂の主郭を中心に削平地等が配置され、井戸跡や石積等も確認できる山城です。西麓根古屋の平坦地にある館跡に土塁と堀跡が残ります。佐野氏の支城です。



指定有無 / 無
名 称：正光寺城跡（しょうこうじじょう） 別 称：恵戸城 所在地：佐野市下彦間町

築城、廃城時期とも不明です。須花城のおさえとして築かれたとの謂れも有していますが詳細不明です。

大塚山と呼ばれる丘陵上にあり、一辺20～25mの平坦地に堀跡と土塁等が巡る平山城です。南面で土塁が開口し、土橋で結ばれています。

虎口となる出入口に横矢がかかります。西側では堀跡の外側にも切岸状の傾斜が認められます。



指定有無 / 無
名 称：浅利城跡（あざりじょう） 別 称：閑馬城 所在地：佐野市閑馬町

築城は、宝徳3年（1451）、佐野氏の一族である神馬七郎忠光とされます。天文15年（1546）武蔵川越の戦いへ佐野豊綱が出陣したのに際して神馬遠江守忠春も従軍し、討死したため廃城になったと伝えられます。

標高331mの山頂の主郭を中心に削平地が配置された山城です。石積は主郭を巡るように認められるほか、南側に多く確認できます。



指定有無 / 無
名 称：鰻山城跡（うなぎやまじょう） 別 称：無 所在地：佐野市戸奈良町

築城については、鎌倉時代に佐野実綱の子戸奈良五郎宗綱が築いたといわれています。宝治元年（1247）の宝治合戦で鎌倉法華堂において実綱が討死した際に宗綱も討死し、廃城になったといわれています。

標高約93mの山頂の主郭を中心とし、主に西側へ向かい削平地が配置される平山城です。

主郭は細長く、土塁が西側を除き三方を巡ります。



指定有無 / 市指定史跡
名 称：赤見城跡（あかみじょう） 別 称：町屋城 所在地：佐野市赤見町

築城は治承2年（1178年）足利（藤姓）俊綱によるとされます。永禄2年（1559年）以降、佐野氏の直接的な支配地になったとされます。慶長2年（1597年）に隠居した天徳寺が一時期この周辺に居住したとされます。慶長19年（1614年）佐野家改易とともに廃城となります。

現在は本丸跡周辺の土塁や堀跡が残る平城です。一辺50～80mの方形を呈し、西側で二重の土塁と堀跡が確認できます。佐野氏の支城です。



指定有無 / 無
名 称：免鳥城跡（めんどりじょう） 別 称：面鳥城、妻鳥城 所在地：佐野市免鳥町

築城は大永5年（1525）免鳥義昌によるとされます。元龜3年（1572）高瀬伊豆守が城主となり、天正5年（1577）長尾顕長に攻められ落城したなどとされます。

城域の範囲は東西210m、南北280m程であったとされる平城です。本丸跡に古井戸があったと伝承されてきましたが、平成17年に実施した確認調査で石組の井戸跡が発見されました。佐野氏の支城です。



指定有無 / 無
名 称：椿田城跡（つばきだじょう） 別 称：無 所在地：佐野市船津川町

唐沢山城主佐野盛綱のときに、客将として招かれた福地丹波守仲久が初めて居住し、福地出羽守寧久（昌寧）が永禄3年（1560）に当城を築き、慶長19年（1614）佐野氏の改易とともに廃城となったとされます。

一辺70～110mの長方形の内郭跡が残る平城です。内堀跡と判断される水路が巡ります。佐野氏の南方に対するおさえといわれる支城です。



指定有無 / 市指定史跡
名 称：阿曾沼城跡（あそぬまじょう） 別 称：無 所在地：佐野市浅沼町

築城は寿永元年（1182）、治承4年（1180）等諸説有りますが、佐野氏の一族である阿曾沼廣綱とされます。阿曾沼氏は中世前半に目覚ましい活躍をし、武蔵、相模、信濃、常陸等に12か所の所領を有していたとされ、慶長19年（1614）佐野氏改易で廃城となったとされます。

現在は、城域の北東部に堀跡と土塁が一部残存しています。かつての城の規模は東西約180m、南北約230mとされる平城です。

